

第3回 福井市下水道事業経営戦略策定審議委員会 議事録

日 時	令和3年11月4日(木)14:00～15:30	
場 所	企業局 301会議室	
出席者	<p><委員> 南保委員長 田村委員 寺尾委員 林委員 吉澤委員</p> <p><企業局> 土田経営部長 海道事業部長 朝倉経営部次長 竹澤事業部次長 経営管理課(荒谷課長 廣瀬副課長 白崎課長補佐 松村主幹 北矢主幹 伊藤剛主査 小松主査 塩谷主幹) 上下水道サービス課(高村課長) 下水管路課(前田課長) 下水施設課(内田課長)</p>	
会議録		
1 議題1		<p>◎1 留保資金について ～事務局から説明後、質疑応答～</p> <p>質疑なし</p>
2 議題2	委員	<p>◎2 経営戦略の素案について ～事務局から説明後、質疑応答～</p> <p>(全体の構成等について) 質疑なし</p> <p>(素案の内容について) <素案第1章> 平成29年に経営戦略を策定し、今回、これまでの取組を評価して見直しを行ったということなので、1「策定及び改定の趣旨」(P1)のところに、「策定から5年が経過し、『これまでの取組を評価するとともに』<u>といった文言</u>を入れたらどうか。これまでの5年間の状況を、経営指標で数値的に分析している。そういう振り返りをやったということが今回新たに入ったことの1つだと思うので、そのような文言を入れたらどうか。</p> <p>委員 大事な点だと思う。きちんと振り返りをやっているということをごどこかに表してほしい。「策定及び改定の趣旨」の後ろから4行目あたりに<u>入れ込んでほしい</u>。</p> <p><素案第2章～第3章> 質疑なし</p> <p><素案第4章～第5章></p>

委員	第5章の <u>基本方針1行目(P20)「汚水処理の整備完了」の前に、「速やかな」又は「早期の」という文言を入れたらどうか。</u>
委員	「早期の」の方がいいと思うが、事務局と精査して決める。
委員	<p><素案第6章～第8章></p> <p>第6章の投資計画(P21～P28)で、<u>事業費が大幅に増額となっている大規模改築事業などについては、増額の理由を記載した方がいいのではないか。</u>せめて数十億円増額となっているポンプ場や管渠の改築は、こういう理由だから増額し、こういうことをやっていくという説明があってもいいのではないかと思った。</p> <p><u>不明水対策や耐水化事業は直接市民の目に見えるものなので、もう少し分かりやすい表現の方がいいと思う。</u></p>
事務局	増額の理由をそれぞれの事業の文章の中に入れるのがよいか、21ページの表に備考欄を設けて加えるのがよいか、ご意見をいただきたい。
委員	表に入れるより、事業毎に増額理由が明文化されている方がより分かりやすく、読みやすいと思う。
事務局	<u>文章の中に増額理由を入れる</u> 方向で進めたい。
委員	35、36 ページにシミュレーションがあるが、言葉の分かりにくいものについての説明はどこかに入っているか。
事務局	言葉について特に解説はない。
委員	専門的な言葉も多いので、注釈を後ろの方のページに一覧で載せるなどするといいいのでは。
委員	以前の委員会でもそのような話が出ていたと思うので、分かりやすくするという観点からは、注書きなどがあった方がやさしいと思う。
委員	例えば、その章の終わりに入れてもいいと思う。
事務局	最後にでも <u>用語解説をつける</u> 方向でいきたい。
委員	54ページ「各指標の推移」の中で、 <u>有収率や管渠老朽化率などのランク「C」については、早急に改修しなければいけないということなので、ゴシックで見える化をするようにしてほしい。</u>
委員	55ページ「経営の方向性」の文章はきれい過ぎる。実際に直さないといけない場所も多いので、先ほど吉澤委員が言ったような「 <u>早急に手直しをするところはしながら</u> 」といった <u>文言</u> も入れ、少し緊張感を持ってやっていけないといけないところもあると加えた方がいいのではないか。財務上の評価は「A」が多く、たいして問題がないように見えるが、その中で有収率など「C」のものもあり、そこが足を引っ張っているなので、その対策について最後にもう少し加えておくとよいと思う。

委員		<p>市としてしっかりと取り組む姿勢、意欲が見える形にしておくのは大事なことだと思う。</p>
委員		<p>「全指標で概ねB以上」という目標に合わせようとしているから、こういう文章になっていると思う。しかし、課題としては委員長が言った「C」のところであり、それをはっきりと出すには文言を入れた方がいいと思う。</p>
委員		<p>全体的にきれい過ぎる。今のままでいいのなら経営戦略も立てなくていいくらいだ。切羽詰まるところもあるから、経営戦略を立てているので、その辺りは特出しにして書き加えるか、<u>文章自体をゴシックにして目立つようにするとか、全体的にメリハリをつけるようにしたい。</u></p>
委員		<p>25ページの改築事業に関しては、内容的にはストックマネジメント計画に基づいてきちんと入っていると思う。一方で、投資という観点から、改築更新や大規模修繕など、資本的収支がメインになるのは理解するが、もう少し収益的収支の<u>維持管理費の部分を意識したことも補足しておいたらどうか。</u></p> <p>和歌山市の水管橋の脱落もあったが、点検・調査の活動や日々の修繕など、日常の維持管理の重要性は非常に高いので、日々の維持管理費をしっかりと確保していく、そういう体制をきちんと用意していくという思いを意識的に入れていったらどうかと思う。</p> <p>例えば、25ページの文章中に、「<u>ストックマネジメント計画に基づき、施設の健全性を維持するため必要な維持管理費を入れていく</u>」といった文言を入れるとか、1ページの「毎年増加する老朽化施設の改築」を「<u>老朽化施設の適正な維持管理や改築</u>」と書くとか、39ページの2「組織の活性化・人材育成」のところで、「今後も、適正な人員配置に努め、効率的な業務体制を維持します。」とあるのを「<u>下水道施設の適正な維持向上に向けて、適正な人員配置に努め、</u>」とするとか。改築はもちろん大事だが、インフラをしっかりと維持していく、日々の維持管理にしっかりと取り組むという思いが伝わるような文言を意識的に入れていくといいと思う。</p>
委員		<p>42ページ「下水道事業の見える化」には、当然、下水道の「重要性や(多様な)役割を知ってもらい、関心を持ってもらう」ということが書いてあるが、下水道のことはもちろん<u>下水道経営にも関心を持ってもらえるような文言</u>があるとよい。経営をしていかなければならないということに市民に関心を持ってもらいたいし、そのためには我々がしっかりと説明をしていかなければならない。下水道使用料や一般会計から入っている繰入金、これは税金という形で市民からお金を頂戴しているので、それを使ってこういう形で経営をしていると、まさに経営戦略をしっかりと見せていくことがそれに繋がっていると思</p>

		<p>う。単に下水道ではなく、経営というものに関心を持ってもらうということが書けるとさらにいいと思う。</p>
	委員	<p>大変重要な視点である。どうしてもインフラ事業というものは、行政サービスの一環として当たり前化してしまうが、今からの時代はそうではなく、市民も含めて全体経営が必要。この見える化の中に、<u>下水道事業の情報の共有化を市民と共に図っていく</u>ということがあってもいいのかもしれない。</p>
	事務局	<p>広報誌に決算などは出しているが、事業の内容などについて、より一層の広報に努めていかなければいけない。</p>
	委員	<p>市民は、水道や下水道のことは当たり前の存在だと思っているが、経営のことなど頭にない人が多いのではないか。下水道は市が行うものだと当たり前のように思っている人が多いと思うので、大事な事業であることをもっと知らせていかなければいけない。若い人にはSNS、高齢者には広報誌など、<u>あらゆる方法を使っていく</u>といいと思う。</p>
	委員	<p>SNSでの情報発信にすぐに対応することは難しいかもしれないが、将来的なことも考えて、42ページに「<u>デジタルツールを使いながら詳しい情報の発信に努めてまいります</u>」といった文言を入れるとよいと思う。</p>
	委員	<p><u>25ページ真ん中の表は千円単位であるが、他のページと合わせて億円単位に揃える工夫をした方が読み手側は見やすいと思う。</u></p>
	委員	<p>38ページの「<u>ゼロカーボンシティの実現に向けた取組を検討していきます</u>」という書き方では、これから検討するという感じがする。グリーン社会の実現については国・世界で取り組んでいて、市でも既に日野川浄化センターで取り組んでいるので、もっと充実させていくという意味で、「<u>ゼロカーボンシティの実現に向けて、さらなる取組の充実を検討していく</u>」とした方がいいのではないか。</p>
	委員	<p><u>56ページのSDGs</u>の達成に向けて、下水道のできることはたくさんある。今言ったようなエネルギーの話もあるので、6、11、13だけでなく、もっと多面的に捉え、市民への多様な下水道のPRも兼ねて、<u>もっと入れてもいいと思う。</u></p>
	委員	<p>「<u>17 パートナリシップで目標を達成しよう</u>」は特に入れてほしい。</p>
	委員	<p>いくつか修正が出たが、これらについて、事務局はどのように考えているか。</p>
	事務局	<p>いただいたご意見を反映させ、修正し、委員長にご確認いただき、パブリック・コメント前に各委員にも送付し、ご確認いただきたい。</p>

<p>3 その他</p>	<p>事務局</p>	<p>◎ パブリック・コメントについて</p> <p>12月1日(水)から12月21日(火)まで、経営管理課、市役所総合案内などに、素案と概要版を配置。ホームページでも掲載し、広く市民から意見を募集する。</p> <p>その後、第4回委員会でパブリック・コメントの結果と、意見を反映させた素案を委員にお示しし、審議いただいた上で、改定版を確定する。</p> <p>さらに、委員会での意見を提言書として企業管理者へ報告し、最終的に公表するという流れ。</p> <p>パブリック・コメントの実施については、広報ふくい11月25日号に掲載される予定。</p>
	<p>事務局</p>	<p>第4回委員会の日程は1月下旬から2月上旬頃、場所は301会議室で開催。</p>